

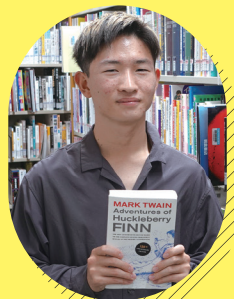
📖 本に触れて世界の見方が変わる

私は本屋の孫で、幼少期はずっと本に囲まれて生活してきました。しかし、小・中・高と、年齢が上がるに連れ、部活動が盛んになったり、新たな趣味ができたりして、本を読まないようになっていきました。

そして、大学に入ると同時に、自分の自由な時間がたくさんできて、再び静かな環境で本を読む時間を作ることができ、本や自分と真摯に向き合うという時間がどれだけ大切で、人生を豊かにしてくれるかということを実感するようになりました。ふとした日常でも、本を読んで得た視点で見れば、見える景色や考えることが変わってきましたし、これまでの3年間の中で人生の選択肢がとても広がりました。

教育学部分館では、教育に特化した本がたくさんあります。また、昨年になって新しく自習スペースが整備されたので、自分の課題に取り組んでいる人の姿もたくさん見られます。

大学時代ほど、なんでも自由に挑戦できるタイミングは今後ありません。楽しむ時は精一杯楽しんで、学ぶ時には図書館を利用して集中して学ぶ。そんなメリハリのある大学生活を送って欲しいと思います。



教育学部 4回生 横田 莞士